

『紅天』

～きのきのの小冒険（回想編）～

鈴木 きのきの

今回は、私が以前住んでいた習志野市のキノコ物件を紹介いたします。

まずは、住んでいたところ（習志野市鷺沼）の近所にあるその名も「マッシュルーム」という美容室です。その店が美容室であるということを知るまでは、随分時間がかかったような気がしますが、そこへ行き出すと、他の店へは行けなくなる不思議なお店です。因みに店内にはキノコを思わせるような物は、全くありませんでした。

髪が整ったところで、いざ、津田沼を目指します。バス通りから裏道に入って、千葉工大の少し手前には、「田舎料理きのこ」という看板が見つかります。何度も通るたびに気にはなっていましたが、5年の間に1度も訪れたことはありません。居酒屋のようでした。

さて、本題に入りましょう。JR 津田沼駅を越えて、創作きのこ料理『紅天』を探します。3年前のことで、今そこへ行ってみろと言われても行けないかもしれません。深夜に賑わっている店やゲームセンター等の間を縫って行った記憶しかありません。しかし、看板にはキノコが描かれています。店に入ると、押し花ならぬ押し茸があちこちにあり、客を歓



お店の入り口

迎してくれます。行った当時は開店間もない時分で、紅天特選コースというメニューのみでした。先付けはエノキのベーコン巻き、前菜は鴨とカブと舞茸のロースト…、卵黄とキノコのソテートリュフソース、…、…、キノコご飯、キノコ汁、デザートも杏子茸のブリュレ等と看板通りのきのこ料理屋さんでした。否、看板通りでしたら、紅天=ベニテングタケなのでまずいですね。

何でも、お店のオーナーは館山の方できのこ屋さんを営んでいらっしゃるとのことでした。それ以上の詳細な情報は得られませんでしたが、また、訪れてみたいとも思いますが、果たしてお店があるかどうか…、お店にたどり着けるかどうか…。



押し茸



料理その1



料理その2